

日仏哲学会

*Société franco-japonaise
de philosophie*

会報 104 号 2024 年 10 月 1 日

このたび、2024 年 9 月 7 日（土）-8 日（日）に、秋季研究大会（創立 50 周年記念大会）と総会が東京都立大学（南大沢キャンパス）にて、おもに対面で予定どおりに行われました。20 本の一般研究発表とワークショップ 4 本、カトリーヌ・マラブー講演会、50 周年をめぐる対談、シンポジウム「哲学史でもって何をなすうのか？」が滞りなく行われ、充実した研究交流の時間をもつことができました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。

総会での審議・報告事項について

- 1) 2023 年度決算、2024 年度予算について、総会で承認されました。
- 2) 2023 年度事業報告がなされ、2024 年度事業計画が示されて、承認されました。すでに行われた事業については、日仏哲学会のウェブサイトをご覧ください。
- 3) 「ジェンダーバランスを考慮した定数枠」提言（以下）が承認されました。

+++

日仏哲学会のより多様で活発な活動のために、以下のように、理事のジェンダーバランスを改変する。

- ・ 20 名の理事のうち、女性理事を 4 人以上選出する。
- ・ 理事選挙において、女性理事が 4 人に満たない場合、得票数が多い女性会員を順次繰り上げて採用とする。

+++

- 4) 機関誌について、第 29 号が刊行されることが編集委員長から報告されました。第 27 号から電子化されており、J-Stage と学会ウェブサイトと 10 月に公開されます。紙版の印刷はごく少数にとどめ、頒価は 3000 円です。第 29 号から表紙が変更されます。
- 5) 2023 年度（第 11 回）日仏哲学会若手研究者奨励賞が、福井有人氏（論文「出来事・場所・霊——ミシェル・ド・セルトーにおける「発話行為」の概念について」）に授与され、表彰式が行われました。

機関誌への公募論文の投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募される方は、本年 12 月 1 日から同月 31 日（JST）までに、下記投稿規程中の編集委員長の e-mail アドレス宛に完成原稿をお送り下さい。（投稿規程は学会ウェブサイトからもご覧いただけます。）

『フランス哲学・思想研究』公募論文応募規程

- 1) テーマ：フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの。
- 2) 応募資格：日仏哲学会会員（ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない。また、投稿時の会計年度を含めた会費を納入済みであること。）
- 3) 応募原稿の形式：完全原稿の電子ファイル（Microsoft Word 2013 以降のバージョンで作成したもの、それ以外の場合は要相談）。論文は、和文・仏文を問わず、1行全角 43 字（半角 86 字）かつ 1 頁 36 行の設定で横書きし、タイトル、注、図表、空白の行を含めて 369 行以内に収めること。注は、本文の該当箇所に通し番号 1)、2)、.....をつけ、脚注ではなく文末脚注として本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジюме（上記設定でタイトルを含め 11 行以内）を本文以降に、ページを改めて付すこと。氏名、住所、電話番号、E-mail アドレス、生年月日（若手研究者奨励賞対象者確認のため）、これまでの制度上の指導教員名、さらに日本学術振興会の特別研究員の場合は受入研究者名を記した応募者情報を、別紙の PDF として添付すること。
- 4) 原稿作成上の注意：欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。仏語レジюмеは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。論文と仏語レジюмеには、氏名と所属、ならびに関係者/団体への謝辞をいっさい記載しないこと。自著を参照する場合も、著者名や三人称を用いて他の文献と同様の形式で参照し、自著であることを仄めかすような記述を避けること。
- 5) 応募期間：当該年度の 12 月 1 日～31 日（JST）。件名を「フランス哲学思想研究公募論文」とした電子メールに電子ファイル 2 点（本文＋仏語レジюме、応募者情報）を添付し、編集委員長宛に送付すること。仏語レジюмеを含む論文のファイル名は「日仏_査読論文レジюме_論文タイトル」とし、応募情報のファイル名は「日仏_応募情報_姓名」とすること（波下線部のみ各自で適宜入力）。
- 6) 原稿送付先：津崎良典 tsuzaki.yoshinori.gn(at)u.tsukuba.ac.jp
※ご連絡の際は、(at)の部分を@に置き換えて下さい。
- 7) 審査：掲載の可否は、二重匿名査読ののち、編集委員会で審議・決定し、理事会における承認を経て通知する。

書評対象作の推薦について

編集委員会では、書評対象作選定の基準を次のように定めています。

- ・書評対象として、直近の会費納付済み会員が前年に出版した著作を取り上げる。
- ・書評対象作は、編集委員会で決定する。
- ・書評対象として、前年に発行された著作を取り上げるが、それ以前の著作でも漏れていたものを取り上げることは可とする。
- ・会員によるものであっても翻訳書は原則対象外とする。
- ・書評対象作のリストアップのため、会員より自薦・他薦を受け付ける。（自薦の場合は、著書を編集委員長宛に送付することが望ましい。住所は、機関誌の奥付に記載。）

これに伴い、書評対象作の推薦を受け付けます。締切は 2025 年 1 月 15 日（JST）、編集委員長までご連絡下さい。

2025 年春季研究大会への一般研究発表の応募について

2025 年春季研究大会は 3 月 29 日（土）に北海道大学（札幌キャンパス）にて開催される予定です。対面とオンラインの併用でのハイフレックス式での開催です。

発表希望者は 2024 年 12 月 31 日（JST）までに、発表要旨（日本語の場合は 1200 字以内、フランス語の場合は 300 mots 以内）を学会ウェブサイトの応募フォームから記入して下さい。発表時間は 25 分で、15 分の質疑応答付きです。採否は 1 月末日（JST）までに決定いたします。

なお、2025 年秋季研究大会は立教大学（池袋キャンパス）にて、2025 年 9 月 13 日（土）-14 日（日）に開催される予定です。発表希望者は、2025 年 6 月 30 日（JST）までに応募して下さい。

会員の皆様へのお知らせとお願い

1) 会費納入のお願い

本学会の財政状況は安泰とは言えない状況が続いています。機関誌電子化によって、支出を抑える努力はいたしますが、基本的に会員からの会費納入によって本学会の運営は成立しています。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費（4000 円）を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます（末尾に記載の学会郵便振替口座から常時お振込みいただけます）。当学会の会計年度は 9 月開始となりますので、その点もご承知おき下さい。

2) メールアドレスご登録のお願い

機関誌電子化にともない、「会報」はすべてメールでの配布となっています。会報は学会ウェブサイトでも随時閲覧可能です。まだメールアドレスを登録していない方は、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

東京都立大学 人文科学研究科 西山雄二研究室内

メール：secretariat.sfjp@gmail.com

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会